

6 土地のつくり 資料調べ 1		6 年 組 名前 ()
雲仙岳では、1990 年から 1995 年にかけて何度もふん火をくり返し、土地の様子が大きく変化しました。 【見つけよう】 雲仙岳の写真などを見て、火山による土地の変化について、気づいたことを書きましょう。 雲仙岳は、ふん火をして山の形が 変わっている。火山のふん火によって、 土地がどう変わるのかを調べてみたい。		【結果を書こう】 ○桜島 …… 1914年のふん火で、流れ出た溶岩で島と陸が地続きになり、火山周辺に大量の火山灰が降り積もった。 ○西之島 …… 2013年から海底火山が活動を続けて、流れ出た溶岩でできた新しい島がもともとあった島と合体した。 ○昭和新山 …… 1943年から始まった火山の活動によって、土地が盛り上がり新しい山ができた。 ○霧島山 …… 2011年のふん火で、ふき出した火山灰などが周辺に降り積もった。 ○浅間山 …… 1783年のふん火で、流れ出た溶岩が土地をおおって、鬼押出しとなった。 ○男体山 …… 約2万年前のふん火で、流れ出た溶岩によって谷がせき止められて、中禅寺湖ができた。
【はてな？】 問題 火山の活動によって、土地は、どのように変化するのだろうか。		
【予想を書こう】 火山の活動による土地の変化について予想しましょう。 火山がふん火すると火山灰が出るから、火山灰が降り積もって、 土地の様子が変わると思う。		
【資料調べの計画を書こう】 火山の活動による土地の変化について、自分の予想を確かめるための方法を考えましょう。 〈方法〉 ・図書室の図かんで調べる。 ・インターネットでけんさくして調べる。 ・資料館に行って調べる。 雲仙岳（長崎県）、桜島（鹿児島県）、西之島（東京都）、昭和新山（北海道）などを調べよう。 		【結果からわかった問題の答えを書こう】 結論 火山の活動によって、土地は、流れ出た溶岩で地面がおおわれたり、 地面に火山灰が降り積もったりして、様子が大きく変化することがある。
【資料調べ 1】 火山の活動による土地の変化を調べよう。		火山と災害 私たちの住む日本は、世界の中でも火山のふん火が多く起こる地域にあります。活発な火山の活動は、土地の様子を大きく変化させるだけでなく、私たちの生活に大きなえいきょうをあたえることもあります。 そこで、活発な火山の活動による災害を防ぐために、さまざまな対策がとられています。自分の住む地域では、どのような具体例があるか、調べてみましょう。